

エントリー選手

①選手名 ②学部・学年 ③出身高校
④10,000m公認記録 ⑤ハーフ公認記録

主将



①江藤 裕也 ②商4
③報徳学園 ④29'36"69
⑤1:04'35"

副将



①信田 雄一 ②商4
③拓大紅陵 ④28'52"45
⑤1:03'05"



①杉本 芳規 ②商4
③兵庫工業 ④29'18"59
⑤1:03'48"



①梅田 将一 ②商4
③那須拓陽 ④29'51"92
⑤1:04'51"



①天野 達也 ②商3
③報徳学園 ④29'47"79
⑤1:04'39"



①池田 智計 ②商3
③須磨友が丘 ④30'27"66
⑤1:05'12"



①井上 正之 ②商3
③八幡浜 ④30'12"03
⑤1:05'30"



①篠藤 淳 ②商2
③飾磨工業 ④28'55"03
⑤1:05'38"



①木村 聡寿 ②商2
③豊川 ④29'55"87
⑤1:05'26"



①大内 陽介 ②商2
③水城 ④29'58"31
⑤1:07'00"



①伊藤 達志 ②法2
③那須拓陽 ④30'06"62
⑤1:06'43"



①細田 祐司 ②法2
③愛工大名電 ④30'08"73
⑤1:04'54"



①池田 政輝 ②商2
③姫路商業 ④30'40"0
⑤1:06'36"



①松浦 貴之 ②商2
③伊川谷 ④29'46"39
⑤1:07'19"



①木原 真佐人 ②商1
③報徳学園 ④28'56"12
⑤1:04'34"



①堀 宏和 ②商1
③利府 ④30'14"87
⑤1:06'17"

中央学院大学 箱根駅伝 応援特集号



さらなる上を目指して。

—全員駅伝で襷をつなぐ—

箱根駅伝へ向けて

今回で4年連続7回目の出場となる箱根駅伝。前回は総合9位で2度目のシード権獲得。着実に力をつけ今回の出場に、より大きな期待がかかります。そこで、陸上競技部川崎勇二監督に箱根駅伝に臨んでの抱負を語っていただきました。

「ここ3回は、10位、11位、9位と、いつもシード権上にいるので、今回はそこを脱して、安定してシード権獲得圏内を走るというのが大きな目標です。今回のチームは、この選手が強いというのではなく、全体の力が平均していてムラがなく、これまで一番完成度が高いので、何としても結果を出したい。過去の大会では、いつも1区で出遅れていたのが、今回は1区からいいポジションを確保していきたいと思っています。また、箱根駅伝は4年生にとって最後の舞台ですから、彼らにとって最高の駅伝にしてあげたいと思っています」

全員駅伝で襷をつなぐ中央学院大学は、今回さらなる上を目指します。

応援 & 見どころ

●応援は、名前を呼ぶと選手には励みになります。各選手の名前をしっかり覚えて連呼しよう！ その際、ユニホームの黄色をあしらった旗などを振ると、より盛り上がりやすくなります。●レース中の給水はいつも9区がテレビ放映されますが、どの区間も15km地点の給水はとても大事。ここでは給水とともにOBらが併走して指示を出します。●応援規則では併走車からの監督の声かけは30秒以内。審判員が同乗して時間を計っています。が、実際には選手に聞こえづらいので、沿道に1区間5、6人配置されたOBや学生に携帯電話で指示を伝えています。●シード権争いが激化する10区では1kmおきにOBや学生を配置して、指示を出しながら叱咤激励、応援も最高潮に達します。

第17回出雲駅伝 第37回全日本大学駅伝出場!

応援して下さいました。本当にありがとうございました。



出雲駅伝 2005年10月10日



全日本大学駅伝 2005年11月6日

第82回箱根駅伝慰労会について

箱根駅伝終了後に全力を尽くして走り抜いた選手や陰で支えた選手、指導にあたった関係者の皆さんを慰労すべく下記の通り慰労会を開催いたしますので、皆様お誘い合わせの上ご参集くださいますようお願いいたします。

【日時】平成18年1月3日(火) 18:00~20:00
【場所】銀座東武ホテル2階 桜の間
<http://www.tobuhotel.co.jp/ginza/>
【会費】5,000円(当日受付にて)

お問い合わせ先: 中央学院大学 学生課

TEL: 04-7183-6518 ● <http://www.cgu.ac.jp/>

第82回箱根駅伝出場大学

駒澤大学	東洋大学
日本体育大学	早稲田大学
日本大学	國學院大学
中央大学	山梨学院大学
順天堂大学	大東文化大学
東海大学	城西大学
亜細亜大学	国士舘大学
法政大学	明治大学
中央学院大学	専修大学
神奈川大学	関東学連選抜

学生三大駅伝戦歴

年	出雲駅伝 44.0km (全6区間)	全日本大学駅伝 106.8km (全8区間)	箱根駅伝 217.9km (全10区間)
2005	第17回 総合11位 2時間12分02秒	第37回 総合9位 5時間25分04秒	第81回 総合9位 11時間14分35秒
2004		第36回 総合13位 5時間34分04秒	第80回 総合11位 11時間23分58秒
2003	第15回 総合12位 2時間13分02秒	第35回 総合6位 5時間26分52秒	第79回 総合10位 11時間17分33秒
1999			第75回 総合13位 11時間38分18秒
1995			第71回 総合12位 11時間34分10秒
1994			第70回 総合16位 11時間38分35秒

往路 Course Map [108.0km]

第1区のポイント
各校とも、流れをつかむためには大事な区間。チームの2〜3番手が起用されるケースが多い。コースは全区間を通してもっとも平坦だが、7.5kmの八つ山橋の下りと、18kmの六郷橋の下りがこの区間の勝負どころとなる。

第2区のポイント
各校エースが起用される「華の2区」。最初の踏み張りどころは14km付近の権太坂で、1.5kmの間に約20mも上がる。中継所手前にも3kmに及ぶ上り坂があり、非常にきついコースとなる。

第3区のポイント
戸塚の丘から藤沢市内を抜け、国道134号線に出るまでの約12kmは緩やかな下り坂。坂の勢いを湘南海岸まで持ちこたえることが重要になってくる。例年、美しい景観がテレビで紹介される区間でもある。

第4区のポイント
平塚から小田原に向かう18.5kmの最短区間。各校ともスピード選手の起用が予想される。小さなアップダウンが続き、想像以上にタフなコースといわれ、5区山登り前の激しい位置争いが見ものである。

第5区のポイント
標高差834mを一気に駆け上がる難コースで、箱根駅伝の「象徴区間」。今年から最長区間となり、各大学とも、山登りの特性のみならず相対的に力のある、2区と並ぶエースランナーを配置することになるだろう。

参考資料 月刊陸上競技

←START GOAL→

第82回箱根駅伝 応援ガイド

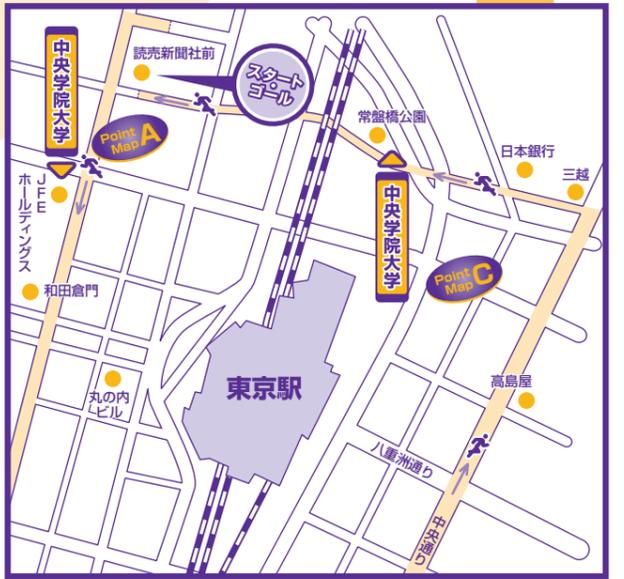
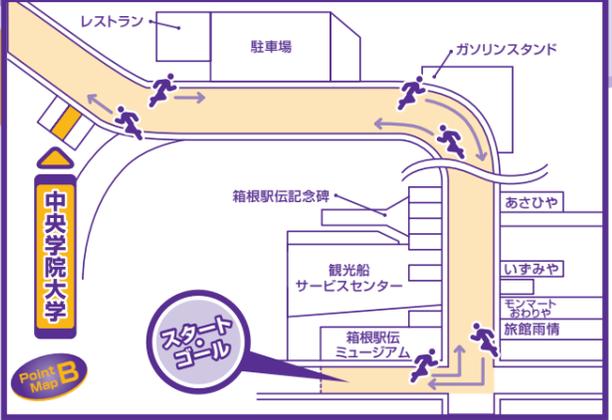
！ 応援の注意事項

- 応援に参加して下さる方は、各区間の応援ポイントと一緒に応援してください。各応援ポイントは大学の黄色いのぼりが目印です。
- 各応援ポイントには通過予定時刻を記載しております。参考にしてください。
- 応援の後は、パンフレットや旗、ゴミなどを捨てずに必ず持ち帰りましょう。



復路応援ポイント：平成18年1月3日(火)

区間	通過予定時刻	応援場所
【スタート(芦ノ湖畔) 8:00】		
6区	8:26	箱根小橋園前
	8:46	函嶺洞門入口&出口
【小田原中継所 8:59】		
7区	9:25	国府津駅前
	9:41	二宮駅前
	9:47	大磯署前(大磯プリンスホテル前)
【平塚中継所 10:03】		
8区	10:25	茅ヶ崎市営プール付近(茅ヶ崎駅)
	10:51	藤沢小歩道橋(藤沢駅)
【戸塚中継所 11:17】		
9区	11:44	保土ヶ谷駅東口
	11:56	横浜駅大歩道橋
【鶴見中継所 12:22】		
10区	12:38	京急蒲田踏切
	13:04	品川駅前
	13:29	日本橋付近(銀座線三越前駅徒歩1分)
【ゴール(読売新聞社前) 13:32】		



往路応援ポイント：平成18年1月2日(月)

区間	通過予定時刻	応援場所
【スタート(読売新聞社前) 8:00】		
1区	8:01	和田倉門(東京駅)
	8:21	品川駅前
	8:45	京急蒲田踏切
【鶴見中継所 9:03】		
2区	9:20	新子安駅前
	9:28	横浜そごう前
	9:42	保土ヶ谷駅東口
【戸塚中継所 10:11】		
3区	10:30	藤沢小歩道橋(藤沢駅)
	10:56	茅ヶ崎市営プール付近(茅ヶ崎駅)
【平塚中継所 11:17】		
4区	11:39	二宮駅前
	11:46	押切橋
	11:50	国府津駅前
	12:13	小田原本町交差点
【小田原中継所 12:15】		
5区	12:35	函嶺洞門入口&出口
	12:59	小涌谷踏切
【ゴール(芦ノ湖畔) 13:36】		

Course Map

東京読売新聞社前～箱根芦ノ湖往復 <10区間 217.9km>

各区間のポイント
解説：陸上競技部 駅伝部 コーチ 尾上 岳史

第6区のポイント
午前8時、芦ノ湖畔を往路の到着順に時差のスタート。往路でゴールが1位から10分以上遅れたチームは、先頭が出発して10分後に同時スタートとなる。下り坂のスペシャリストが要求される区間である。

第7区のポイント
往路とは逆に国府津、二宮、大磯と走り抜ける。箱根の山からの冷気を背に受けてスタートするが、やがてほぼ真正面から陽光を受けて走ることとなるため、各チームとも、とにかくオーバーペースは避けようとする戦法がとられる。

第8区のポイント
前半は、湘南遊歩道を走る平坦なコース。残り9kmから上り坂に入るが、中継所まで残り5km地点にある遊行寺の上り坂が選手を苦しめる。このあたりから優勝&シード権争いも次第に熱をおびてくる区間である。

第9区のポイント
準エース級の「裏の華の2区」。スタート直後は下り坂が続けリズムに乗りやすいが、起伏の多い長丁場のため選手と監督の読みが最も問われる。ポイントは8km過ぎの権太坂。レースの駆け引きは見応え十分。

第10区のポイント
第75回大会から日本橋回りのコースになった。この区間は距離が長く、また、気温の上昇や、ビル風等、プレーキになる要因の多い区間。ここ数年は、各大学とも力のある選手を配置し、逃げ切りや逆転を狙ってくる。

復路 Course Map [109.9km]